

厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
分担研究報告書

エビデンスの構築・ガイドライン策定

長谷川 潔 東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科 教授
(研究協力者) 国土 貴嗣 東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科 助教

研究要旨

現行の肝臓診療ガイドラインにおいてエビデンス不足のために十分な推奨が行えていない領域の同定を行い、新たなエビデンス構築のための研究デザインを考案し、臨床研究を行う。特に再発肝臓について現行のガイドラインの改訂に向けてエビデンスの収集を行い、不足している分野については、エビデンス収集のための臨床研究を企画し、データ収集を開始する。非代償性肝硬変については、日本消化器病学会肝硬変ガイドライン(次版より肝臓学会との共同作成となる予定)作成員とも協力し、エビデンスの収集を行い、同様に臨床研究の必要な分野について検討を行う。

A. 研究目的

現行の肝臓診療ガイドラインにおいてエビデンス不足のために十分な推奨が行えていない領域の同定を行い、新たなエビデンス構築のための研究デザインを考案し、臨床研究を行う。

B. 研究方法

再発肝臓について現行のガイドラインの改訂に向けてエビデンスの収集を行い、不足している分野については、エビデンス収集のための臨床研究を企画し、データ収集を開始する。非代償性肝硬変については、日本消化器病学会肝硬変ガイドライン(次版より肝臓学会との共同作成となる予定)作成員とも協力し、エビデンスの収集を行い、同様に臨床研究の必要な分野について検討を行う。

(倫理面への配慮)

患者の個人情報に配慮し、データの匿名化を

行った。

C. 研究結果

再発肝臓について現行のガイドラインの改訂に向けて不足している分野を同定し、エビデンス収集を行った。

D. 考察

今後エビデンスの不足している臨床研究の必要な分野について検討を行い、データ収集を開始する予定である。

E. 結論

ガイドラインの改訂に向けてエビデンスの収集を行い、不足している分野を同定した。

F. 健康危険情報

本研究に伴う健康危険情報は無い。

G. 研究発表

1) 論文発表

1. 竹村信行、国土典宏、長谷川潔. 【肝癌診療ガイドライン 2017 改訂のポイント】外科側からの改訂ポイント. Liver Cancer 2018;10;33-37

2) 学会発表

1. 長谷川潔、国土典宏. 肝癌診療ガイドライン 2017 年版改訂のコンセプトと次版の方向性. 第 118 回日本外科学会定期学術集会 (2018 年 4 月 5 日、東京)

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)
特になし